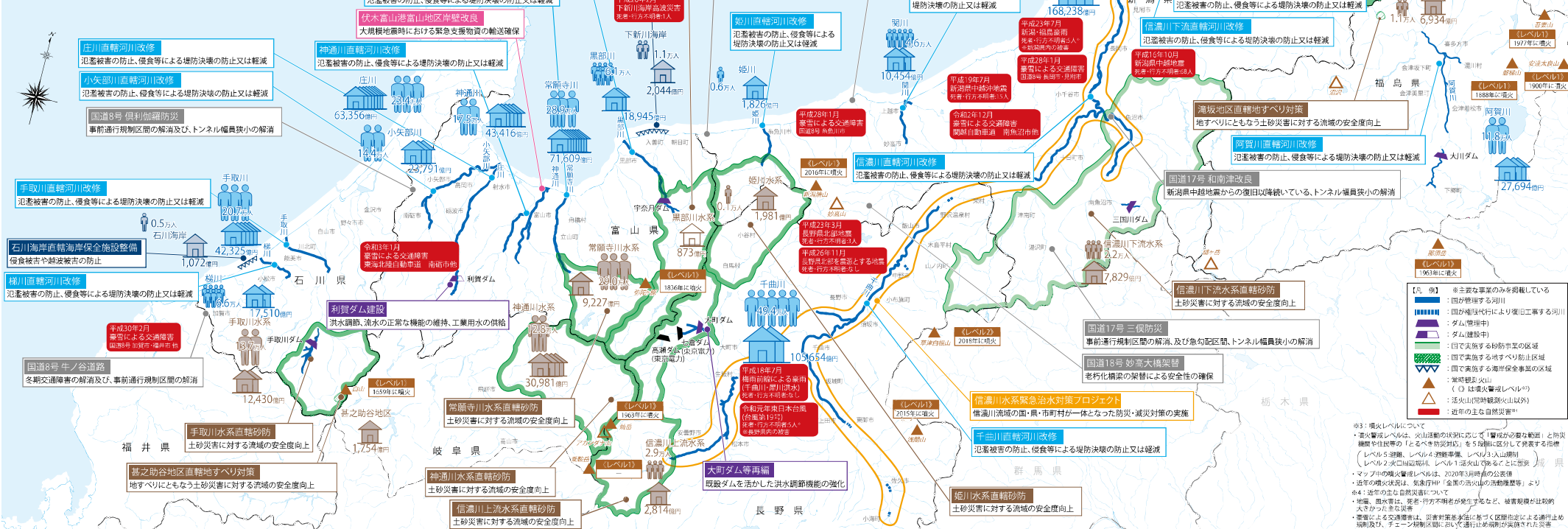
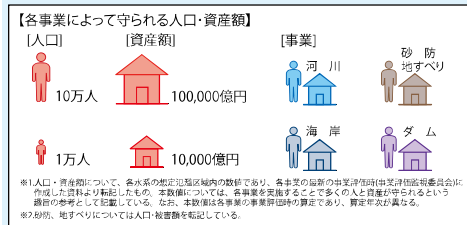


北陸に強さとしなやかさを。

北陸の美しく豊かな自然もいつ牙をむくかわからない。ひとたび発生すれば大きな被害になる洪水や土砂災害等。多くの人の生命と財産をまもるとともに、暮らしや地域経済への深刻なダメージを回避し、迅速に回復が可能な地域づくりを行っていきます。



※：噴火レベルについて
・噴火レベルは、火山活動の状況に応じて「警戒が必要」と「防災機関等による対応」を5段階に区分して発表する指標
（レベル5：噴火、レベル4：噴火警戒、レベル3：噴火警戒、レベル2：噴火警戒、レベル1：噴火警戒）
・マップ中の噴火警戒レベルは、2020年3月時点の公表値
・近年の噴火状況は、気象庁「日本の火山活動の現状」より
・近年の主な自然災害については、国土交通省「国土の防災・減災対策の現状」より
・地震、風水害は、気象庁「気象庁発表の地震、風水害の発生状況」より
・豪雨による交通障害は、国土交通省「豪雨による交通障害の発生状況」より

河川

信濃川流域全体の治水安全度向上

大河津分水路の河口部は洪水を安全に流下させるための断面が不足、施設の老朽化・機能低下も進む平成27年度より改修着手し、信濃川中流部や千曲川など、信濃川水系全体の洪水処理能力の向上を図る

令和元年東日本台風(台風第19号)時の大河津分水路(新潟県長岡市・燕市)

完成イメージ

大河津分水路の改修(新潟県長岡市・燕市)

砂防

日本を代表する砂防堰堤の整備

大雨のたびに土砂が下流に流れるのを防ぐため、立山カルデラの出口に大規模な砂防堰堤を整備

立山カルデラ

立山カルデラ

立山カルデラ

道路

災害に強い道路整備

橋梁の架替による緊急輸送道路ネットワークの更なる強化

災害により損傷が著しい橋梁の架替(新潟県糸魚川市・国道8号 青海川橋)

復旧支援

緊急災害対策派遣隊 (TEC-FORCE) による活動

全国各地で頻発する自然災害に対し、被災地にTEC-FORCEを派遣して技術的な支援を実施(令和元年 台風第19号による豪雨)

側溝清掃による応急対策(長野県長野市)

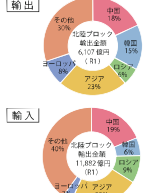
立ち往生解消支援のための応急対策(関越自動車道)

つなぐ

まちとまちを結び人々の日常生活に欠かせない道路。交通の拠点として国内外の玄関口となる港湾や空港。北陸地域内外と人、物、情報を広域的につなぎ、暮らしや地域経済を元気にします。

北陸は経済成長の著しいアジア諸国・極東ロシアと日本海を挟んで対面

※新潟県、富山県、石川県、福井県の合計



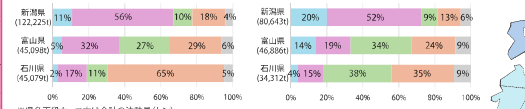
【データ】財務省 貿易統計



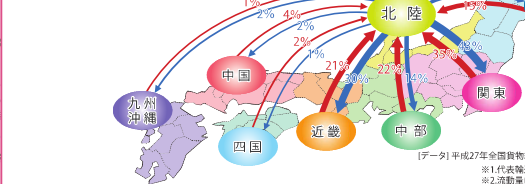
北陸を発着地とする物流は、関東・中部・近畿とのつながりが強く、交通ネットワーク等の更なる強化で、三大都市圏との対流・交流・連携を促進

【北陸を出発する貨物流動量】※トンベース 【北陸に到着する貨物流動量】※トンベース

■北海道・東北 ■関東 ■中部 ■近畿 ■その他 ■北海道・東北 ■関東 ■中部 ■近畿 ■その他



※県名下段カッコ内は合計の活動量(トン)



※1.代表輸送機関が「トラック計」である流動量(トンベース)
※2.流動量は北陸内々(新潟・富山・石川)を除いた値